

複合経営診断設計システム (Ver.4)

農業改良普及センターや農協等において、パーソナルコンピュータを利用して、認定農業者の認定計画書や制度資金借入に係る事業計画書の作成をはじめ、個別農家や生産組織の経営診断・設計を迅速・的確に行う手法として昭和58年度に開発された本システムを、利用者の要望に応え、操作性の向上やデータ更新等のバージョンアップを図った。

複合経営診断設計 (Ver.4.0) 作目組合わせ

作目コード	作目名	作目タイプ
1	4 5ha(県中 こまち・ゆめ 中苗)	11
2	26 えなまめ	12
3	34 きゅうり(露地普通)	13
4	88 根みつば(促成)	14
8	118 小きく(9月咲)	15
8	132 りんどう(半促成)	16
7	133 りんどう(早生)	17
3	134 りんどう(中生)	18
3	135 りんどう(晩生)	19
10		20

作目コード (END>999 中止>888) = 茶

作目コード	作目体系 (生産技術体系 H8.3版)	収量	単価	粗収益	経営くんコード
118	小きく(9月咲)	35,000.0H	30.0/H	1,050,000	FL012
119	シクラマ(5号鉢)	7,000.0H	820.0/H	5,740,000	FL013
120	新テオ・クリ(銀河1号)	25,000.0H	90.0/H	2,250,000	FL014
121	すいせん(球根)	1,610.0K	304.0/K	489,440	FL015
122	スター・スター(ゴキア)	50,000.0H	30.0/H	1,500,000	FL016
123	宿根性スター(初年目)	20,000.0H	100.0/H	2,000,000	FL017
124	宿根性スター(2年目以降)	20,000.0H	100.0/H	2,000,000	FL018
125	カボチャ	20,000.0H	55.0/H	1,100,000	FL109
126	ズア・ズク(秋・カボチャ)	40,000.0H	60.0/H	2,400,000	FL020

図1 作目・類型組合せ入力画面

作目・類型組合わせを選択すると図1のような画面が表示される。画面下半分には作目名が表示され、作目体系Noを確認しながら作目選択ができる。

200番以降は組み合わせた類型を登録できるので、集落等を対象とした営農類型の組み合わせもできる。

複合経営診断設計システム (Ver.4.0) 試算計画法 家族労働力(同値は1974年で入力省略)

月	労働人数	労働日数	一日時間	計
1	3	20	7	420
2	3	22	8	528
3	3	24	8	576
4	3	25	8	600
5	3	25	8	600
6	3	25	8	600
7	3	25	8	600
8	3	25	8	600
9	3	25	8	600
10	3	22	7	462
11	3	20	7	420
12	3	20	7	420

これでよろしいですか (Y/N) Y

労賃単価(雇用) 規程値 = 700 円

これでいいですか (Y/N) Y

図2 家族労働力の入力画面

利用可能な家族労働力を図2の画面で入力することによって、家族労働で経営が可能かを判定する材料となる。

労働時間入力後は、家族労働が不足した場合の雇用単価を入力する(規定値は700円/時間となっている)。

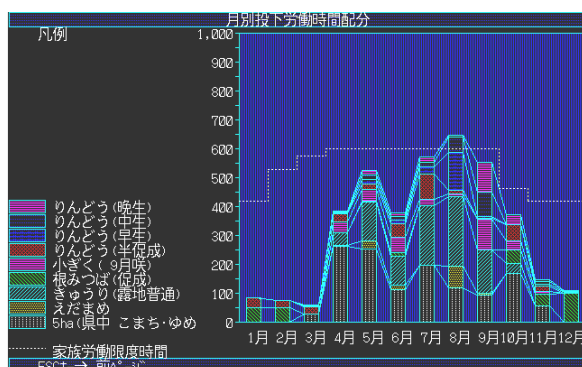


図3 月別投下労働配分の出力画面

それぞれの画面で入力したデータに基づき、試算結果の概要として図3のような月別労働配分図も表示できる。

カラーの種類や目盛りの巾は、データに応じて自動的に設定され、ハードコピーも可能となっている。